

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
体育実技	石川 拓次	講義	1		2	4	3
授業概要 授業目的	様々な球技、レクリエーションゲームに親しみ、スポーツの楽しさを体感し、その特性を理解する。また、運動やトレーニングを通して、自らの健康管理や体力作りの方法を習得するとともに、運動を習慣化する態度を身につける。さらにスポーツを通して、社会性、協調性、コミュニケーション力を身につけ、自らの人生におけるスポーツの意義について受講生全体でディスカッションを行い、生涯スポーツの基礎を作る。						
到達目標	①健康の保持増進に加えて、スポーツを通して心身の調和を図ることができる。 ②それぞれのライフスタイルに応じたスポーツ活動に参加することができる。 ③生涯スポーツを自主的にプランニングする能力と態度を養うことができる。						
回	学習内容						
1	オリエンテーション・体力測定						
2	バスケットボール (1) 基本動作 (パス, ドリブル, シュート)						
3	バスケットボール (2) 総当たり戦 1						
4	バスケットボール (3) 総当たり戦 2						
5	バレーボール (1) 基本動作 (アンダー・オーバーハンド)						
6	バレーボール (2) 総当たり戦 1						
7	バレーボール (3) 総当たり戦 2						
8	卓球 (1) 基本的なストローク						
9	卓球 (2) 総当たり戦 1 シングルス						
10	卓球 (3) 総当たり戦 2 ダブルス						
11	ニュースポーツ (1) インディアカ						
12	ニュースポーツ (2) インディアカ						
13	バドミントン (1) 基本的なストローク						
14	バドミントン (2) 総当たり戦 1						
15	実技試験・体力測定						
予習内容 復習内容	授業内に出す課題について、毎回 2 時間程度、インターネットや図書で調査し、レポートにまとめておくこと。						
教科書	指定しない						
成績評価	筆記試験は行わない。 授業への積極的態 度 30% 体力測定 40% レポート 30% 評価基準：体力測定は受講生の到達目標すべてに対応して、学修到達度を最終的に確認するためのテストである。レポート課題は、授業内容を踏まえて的確に自己表現できているかを評価する。						
実務経験	なし						
その他 特記事項	運動に適切なウェア、シューズを準備すること。 体調管理には十分に注意すること。						